

## 障がい福祉サービスの利用について

18歳の誕生日、もしくは高等部卒業（3月）までは、制度上障がい児の支援（放課後等デイサービスなど）を利用することができます。18歳の誕生日から障がい者のサービスに切り替えることができますが、その場合障がい児のサービスは終了することになります。一般的に本校の卒業生は、高等部在学中は障がい児のサービスを利用し、卒業後は障がい者のサービスを利用しますが、どの時点から障がい者のサービスを利用できるのかは市町によって異なります。

障がい者のサービスを利用開始できるタイミング

- 茨木市：卒業後の4月1日以降
- 高槻市・摂津市・島本町：卒業式の翌日以降随時

在学中に利用できる福祉サービス（代表的なもの）

### ①放課後等デイサービス

授業の終了後または休校日に、児童発達支援センターなどの施設に通い、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進などの支援を受けることができます。

学校まで送迎が来て、帰りは自宅まで送ってもらえる場合がほとんどです。

### ②日中一時支援（日帰りショートステイ）

性質は放課後等デイサービスとほぼ同じですが、こちらは18歳以降も利用可能です。

### ③短期入所（ショートステイ）

家庭で一時的に介護ができない場合などに、短期間、夜間も含めて施設などで入浴、排せつ、食事など必要な介護を行います。

### ④移動支援（ガイドヘルパー）

円滑に移動できるよう、支援が必要な方の移動を支援する事業です。社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動など、社会参加のための外出に利用可能です。

以下の場合には利用できません。

- ・通勤、営業活動等の経済活動にかかる外出
- ・通年かつ長期にわたる外出
- ・社会通念上適当でない外出

# ⑤居宅介護（ホームヘルプサービス）

自宅で、入浴や排せつ、食事などの日常的な介護を提供します。

身体介護：食事介助、入浴の介助、排せつの介助、通院・外出の介助など

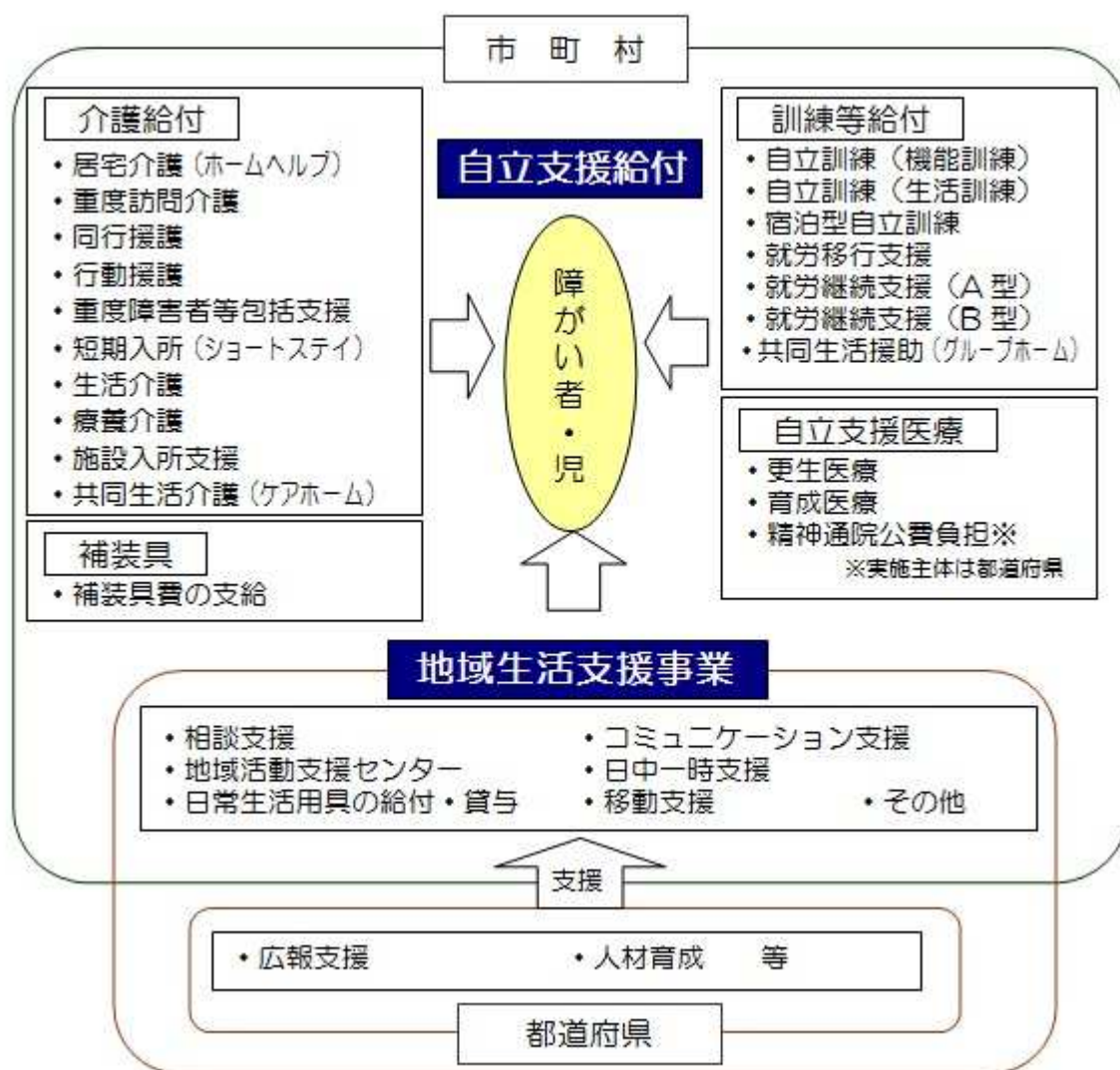
家事援助：洗濯、調理、買い物、掃除など

## 障がい者支援について（18歳以上）

以下のサービスを利用するためには、市町村へ申請手続きを行い、障がい支援区分の認定（介護給付・訓練等給付の共同生活援助で介護を伴う場合）、支給決定を受けたうえで、指定事業者・施設等との契約や指定医療機関での受診を行っていただくこととなります。

障害支援区分により利用できるサービスや支給決定の流れは、18・19ページをご覧ください。

### 障害者総合支援法による「総合的な支援サービス」の全体像



《備考》

①共同生活援助（グループホーム）

障がいのある人が３～７人程度のグループで家やマンションを借り、地域で暮らしていくための支援です。世話人に食事の用意などの手助けをしてもらいますが、一人ずつのプライバシーを尊重しながらメンバーで協力して生活をしていきます。

②就労定着支援

企業・自宅等への訪問や本人の来所により、生活リズム、家計や体調の管理などに関する課題解決に向けて、必要な連絡調整や指導/助言等の支援を実施します。